

# つち 我等、地に生きん

## — 持続可能な社会と人間の責任 —

上記タイトルの言葉を歌詞に含む「同志社大学歌」は1935年、同志社創立60周年を記念して作られ（作詞・北原白秋、作曲・山田耕筰）、今も入学式や卒業式などで歌い継がれています。北原白秋がどのような考えをもって、この歌詞を考えたのかは必ずしも明らかではありませんが、「地に生きる」を現代社会の課題として受けとめ、このシンポジウムでは「持続可能な社会」のために何ができるのか（すべきなのか）を、宗教や経済学（特にエコロジー経済学）そして「良心」の視点から考えていきます。

入場無料・事前申込不要

● 日時：2018年1月22日（月）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：

小原克博（同志社大学 神学部 教授）

和田喜彦（同志社大学 経済学部 教授）

コメンテーター：

三俣 学（兵庫県立大学 経済学部 教授）



■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。